

京情協 地域情報化委員会 議事録

平成 18 年 4 月 19 日

開催日時：平成 18 年 4 月 18 日（火） 16：00～17：45

開催場所：京都コンピュータ学院京都駅前校内 西新館 4 階会議室

参加者： 中川、藤関、増田、直江、福本、古川、事業推進委員長：駒井、事務局長：和田

配布資料：18 年度事業計画(地域情報化委員会関連分)

地上デジタル放送の関連(取組状況、公共アプリケーションパイロット事業)

京都試作産業関連(H18.2.23：京都産業 2 1 配布資料の抜粋版)

議事

地域情報化委員会の目的を共有する為に 18 年度事業計画を再確認する。

併せて、以下の現時点状況を配布資料等に従い説明した後で検討を重ねた。

1. 試作産業創出関連

- ・ 京都産業 2 1 が提示されている試作パートナーの加入条件を理解する。
- ・ ソフト関連業界にとり適切な仕組とは思えない部分が多いので京都産業 21 に申し入れする事を決める。
- ・ 4月24日、16時より京都産業 2 1 より延広審議役、森西課長が総合システムサービスに来られるので以下を中心に要望する。
- ・ ソフト関連で引合の可能性のある案件(けいはんな？大学から？他)をサンプル的に動かせないか。
- ・ 引合の相手をグループ化する事を望まれているが京情協には馴染まない。企業個別に引合できる仕組、対応企業が存在しない時には地域情報化委員会？等で対応策を計る構造は採れないのか。
- ・ 会費(3万円/月)、手数料(5～7.5%)が高いと考慮される。どのようにお考えか。

2. 地上デジタル放送公共アプリケーションパイロット事業関連

- ・ 府知事選挙の関連で 6 月補正予算対応になると考慮されるが総務省、京都府独自取組の実証実験が 18 年度の事業として計画されている事を理解する。
- ・ 防災関連の広報を含め、府下の自治体の広報(紙媒体、ホームページを補完)に地上デジタル放送が利活用される仕組を理解しておく事は、IT 業界関係者にとり重要な事である。
- ・ 当取組には京都府 IT 政策監部門より協力要請が既にきている。地域情報化委員長が該当の委員会のメンバーになるとの手続きで進行している。

3. 他府県情報産業団体関連

- ・ 17 年度に他府県情報産業団体の調査報告に関しては小林氏を中心に進めてきた。調査報告書の中で幾つかの検討テーマが提起されている。次回の地域情報化委員会から順次協議(3 ブロック程度に分割して)していく。
- ・ 検討した結果、現状の京情協が学ぶべき点は事業推進委員会に議論結果を報告し、改善を要望する事を含め実施する。
- ・ 調査報告を中心でやられた小林氏は諸事情で 18 年度の地域情報化委員会活動を休会されるが、メール等で議論参加(協力)をお願いしている。

4. その他

- ・ 地域情報化委員会の開始時刻を 1 時間遅らせて 17 時開始とする。
- ・ 従来 of WG 活動を止めて委員会を中心に進める。総会での委員会開催数を 1 回増加させている。

4 月 18 日 6 月 20 日 7 月 18 日 8 月 17 日

10 月 17 日 12 月 19 日 2 月 20 日 を予定しております。

以上